

6月は環境月間 コープの洗剤ではなまる

「コープセフター」が誕生した1960年代は、全国で河川の汚染が進み、洗剤による水環境への影響が問題となっていました。コープはこの課題に取り組み、さらに商品開発を続け、1969年、より生分解性が高い、高級アルコール系界面活性剤を利用して開発した洗剤が「コープセフター」でした。



組合員の声

家族が多く、洗剤をたくさん使うので、いつも箱買いしています。柔軟剤入りは特に助かります。

ずっと洗剤はセフター-Eを使用しています。少ない量で汚れがよく落ち気に入っています。購入すると0.5円の寄付ができ、うれしいです。

コープの洗剤、色々使ってきました。環境に配慮しつつ、かつ洗浄力を求める私のような組合員に安心を与えてくれるのが、コープの洗剤でした。今は「セフター-ENERGY、強力洗浄」と「抗菌、防臭」を使い分けています。

Point 愛され続ける理由

1 原料へのこだわり

セフターは、洗浄力の向上はもちろん、より環境に配慮した洗剤であることを目指して改良が重ねられています。1983年には、資源問題に対する声に応え、洗浄成分の主原料を、枯渇資源である石油から再生産可能な植物原料に切り替えました。



©WWF-US_DES Syafitza

2 余計なものを入れない

着色料が加えられた、カラフルな色の液体洗剤や、粉を着色した粉末洗剤がありますが、見た目は美しいものの、着色料を加えることで、洗浄力が高まるわけではありません。コープの洗剤は、どれも、蛍光剤無配合、そして、無着色。洗浄力に関係のない、余計な成分は加えていません。



セフターシリーズのこだわり

3 持続可能な生産を目指して「コープセフター」シリーズを1点利用毎にWWFジャパンに0.5円、寄付を行っています

「コープセフター」に使われるパーム油の原料・アブラヤシの生産には森林破壊の問題や、労働問題などがあって、これらを解決するために「RSPO 認証」というものがあるんだ。寄付したお金は、農家と森を守るために、持続可能なパーム油の生産をすすめる活動などに、役立てられているんだよ。

RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議)とは持続可能なパーム油の生産・製造・流通・消費を目的とした非営利組織です。コープ商品では、RSPO 認証を受けたパーム油の使用を積極的にすすめています。



ならコープマスコットならび

コープ商品で地球の未来を考えよう
 ならコープはみなさんの笑顔に寄り添います

はなまる通信のご意見ご感想はこちら



ならコープの産直についての情報はこちら▶



その他のSDGsの取り組みはこちら▶



コープのエシカル特集ページはこちら▶

